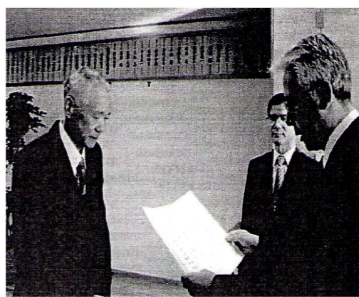


社会貢献活動のごほうび

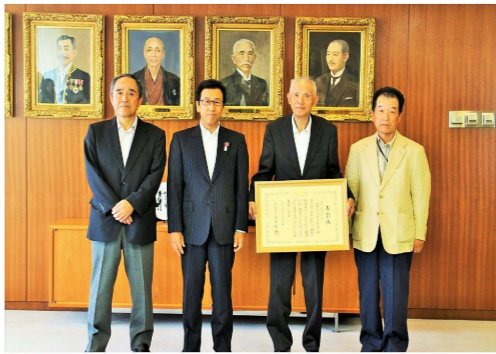
私たちの活動が認められて 数々のご褒美をいただきました

○平成18年
森林づくり貢献活動北海道
道森林管理局長表彰



○平成19年
平成18年度北海道社会貢献
賞(森を守り緑に親しむ功
労者) 北海道知事賞を受賞

○平成21年
第1回さっぽろ環境賞環境保
全・創造部門札幌市長賞を受
賞



○平成21年
日本「水源の森百選」保全
整備 活動コンクール審査
委員会特別賞(「森林と水」
普及啓発事業実行委員会)
を受賞



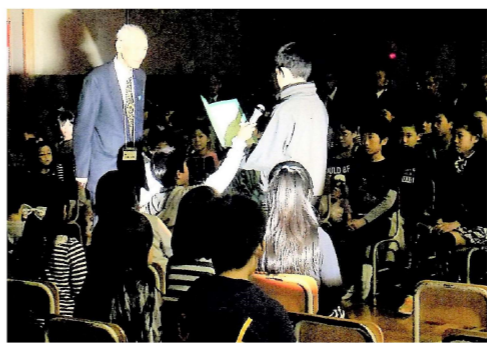
○平成24年
「国民の森づくり推進貢
献」林野庁長官表彰



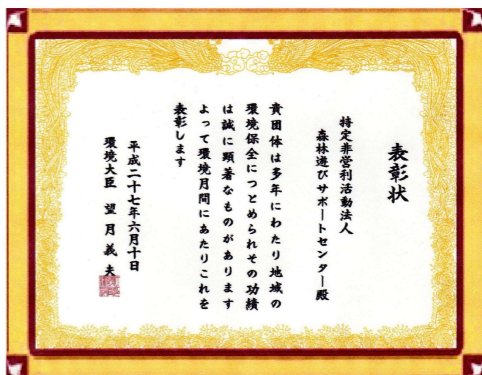
○平成24年
「ほっかいどう地球温暖化
防止貢献の森林づくり」コ
ンクールポランティア団体
部門 最優秀賞北海道知事賞
を受賞



○平成25年
札幌市立藤の沢小学校「開校
100周年記念式典」に招か
れて「バードカントリー委員
会」代表から感謝状をいた
だく!



○平成27年
地域環境美化功績者(植樹・
植栽等の緑化運動) 環境
大臣表彰



○平成29年
第51回林業関係広報コンク
ルで会報「もりのとも」が広
報誌部門で奨励賞を受賞



つぶやき(思いでの記録)

あの3・11東北地方を襲った未曾有の震災による大被害、想像をはるかに超える被害の大きさと多くの犠牲者のことを思うとき、ついつい足が遠くのは、ごく自然のことかと、ちよっぴり寂しく、せつないものがありました。普段は知ることなかった、あのシベルトとかの単位で発表される原発の被害報道も、なかなか理解できないだけに、一層の不安をしいられ、何故か落ち着きません。「永く、原子力安全確保をやつてきて精通しているつもりでしたが、福島で起きたことすべてがショックです」。自らの持ち得る最大の知識力を被災地の復興支援に役立てたいと、率先して現地に向いた会員には、ただただ頭が下がりました。3週間の任務を終えて無事戻られた本人からは披露困難の影を打ち消す充実感の笑顔が強く印象づけられました。私にできることは何だろうか?節電、節水、無駄の排除・・・。ACジャパンのコマーシャルが、だれもが協力できる最も身近な方法として、編集人の心を大きく揺さぶりました。失われたもののもう一つ、自然の緑をもとに戻すのも、それはそれは長い長い年月が強いられまます一日も早く、一刻も早く東北の森が、もとの豊かな「緑」をとり戻うばかりです。

第26号(2011・5・25)

(A,Y)



人生70台の舞台、歳を重ねて失ったこと、出来なくなったこともあるけれど、いつまでも「好きなこと」があり「健康」でありたいと思う気持ちには、みな同じことでしょう。時を同じくして、療養中の山の友と森の友が春を待たずに天国に旅たれました。突然の訃報に悲しみがこみあげて言葉もありません。でも、ふさぎこんでばかりもいられません。思い起せば昨年の暮、今まで参加したあの日、あの時のあの場所の記憶をたどつて思い出の写真を見つけてほしい・・・と依頼のメールに20枚もの写真を転送したのが最後になりました。今は亡き友のご冥福を心からお祈りいたします。久しぶりに何かと多忙な時間をやりくりしてお会いしませんか。語りませんか。何故、また今なのでしょう。それぞれの環境を思うとき、こんな疑問にちよっぴり心が動かされるのも事実です。「日々の暮らして感動することを見つけていますか 過ぎていく一瞬一瞬を充実させていますか 時を知り時に応じてふる舞っていきたい 今いる自分の場所を大切にしていきたい 大事に 大事にしたい時があります」。

第27号(2012・5・1)

9月、森林環境教育として取り組む「げんきで美しい森づくり」に日中国交正常化40周年記念事業として、中国2大学から友好交流団が来日し、駒岡小学校の子どもたちとの交流会と記念植樹でエヤマザクラを植えた。この活動は今年で6回目を迎えた。

秋の夜長、久しぶりに読書に耽る。「木を植えることは、心に木を植えることです。明日への希望を植えることであり、いのちそのものを植えることです。」「本物の森づくりを目指して、今、木を植えましょう。家のまわり、学校のまわり、各種施設のまわりにも植えるところがないとは言わせません。3本でも植えれば、それは林の始まりです。5本も植えれば、もはや森の始まりです。」「(宮脇昭著 4千万本の木を植えた男が残す言葉)まさに私たちが取り組んできた森づくりそのものです。」

来年はNPO法人設立から10年目の節目です。さつぽろふるさと森(ラブアースの森)づくりも5年目の植栽補完の年です。私にできることは何だろう、それは一本の苗木から始まります。来年もみんなで木を植えましょう。次代をつなぐ未来のために・・・。

第28号(2012・12・20)



全国子どもサミット(平成25年)



森の育ての親同窓会(平成24年)



学校林・こまおかの森(平成23年)